

1. 基本情報

評価対象年度 (令和3 年度)

施策コード	414		施策名	公園の整備
将来像	4	豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち(「基盤づくり」の分野)		
まちづくりの基本目標	41	快適で住みやすいまち		
主担当部	都市整備部		主担当課	水と緑と公園課

2. 施策の方向

10年後の姿	市民のニーズに対応した特色ある公園が整備され、多くの市民が快適に利用しています。また、地域の公園の維持管理に市民が主体的に関わっています。			
施策の方向性	1	多様化する市民ニーズに対応する公園の整備を進めていきます		
	2	地域から親しまれる市民の手による公園づくりを推進します		

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和3年度決算額
清瀬駅南口地域児童館整備事業	1	未来創造課	15,240
公園管理事業	1、2	水と緑と公園課	87,758
柳瀬川回廊事業	1	水と緑と公園課	3,513
総事業費(施策の合計)			106,511

4. まちづくり指標

指標情報				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	市民1人当たりの公園面積		目標値	3.22	3.37	3.38	3.62	3.67
	説明	—	単位 m ²	実績値	3.37	3.38			
	抽出方法	所管課統計		達成率	104.7%	100.3%			
②	名称	市民による公園の自主管理の取り組み数		目標値	5	5	5	7	10
	説明	—	単位 数	実績値	3	3			
	抽出方法	所管課統計		達成率	60.0%	60.0%			
③	名称	身近にある公園は憩いの空間になっていると思う人の割合		目標値	40.0	40.0	40.0	43.5	45.0
	説明	—	単位 %	実績値	38.2	38.2(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	95.5%	95.5%			

※③抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和3年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) 維持	<ul style="list-style-type: none"> ●清瀬市の強みである水と緑が織りなす自然豊かな柳瀬川流域の台田運動公園や清瀬金山緑地公園、金山調節池、清瀬せせらぎ公園、さらに、空堀川から柳瀬川沿いに設置された遊歩道とその周辺の緑地が一体的に市民に親しまれている。そして東京都による河川改修工事が完了し(仮称)清瀬橋親水公園を整備することによって、清瀬橋のトンネルを通行し柳瀬川回廊コースが繋がりがり、回遊性が向上している。 ●遺贈地を活用した(仮称)花のある公園整備事業では、令和3年度に行ったオープンパーク事業を通して、延べ1,100名余りが参加した。市民に(仮称)花のある公園に対する思いの醸成や担い手となりうる人・団体との繋がりを作ることができつつある。令和4年度からは環境へ配慮したコミュニティファームも事業に含め、引き続き、維持管理や利用に係るルールとしくみを市民と検討することとしている。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和3年度からの変更点	新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、(仮称)花のある公園の運営協議会設立に向けたワークショップ等市民参加型の事業推進に制約が生じる。
-------------	--

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	「樹木・花壇などが多く自然豊かな公園」、「敷地が広く散歩やジョギング等が楽しめる公園」、「ベンチが多く休憩しやすい公園」など市民の利用したい公園像を踏まえた公園整備が求められている。
	課題に対する令和5年度以降の取組	(仮称)花のある公園、(仮称)清瀬橋親水公園の整備を進めるとともに、清瀬駅南口地域児童館整備と一体的に中央公園を再整備する。
②	施策を進める上での課題	規模の小さな公園等の中にはあまり利用されていない公園がある。
	課題に対する令和5年度以降の取組	公園の活用を促進するとともに地域住民が維持管理に関わり易くするための環境整備として安全確保のため倒木等の危険がある樹木を伐採し、越境や落ち葉、害虫の発生などの管理上の問題が少ない中低木に移行する。合わせて、公園の売却も積極的に検討する。
③	施策を進める上での課題	宅地開発に伴い整備された小規模公園が、有効に活用されなくなる場合があり、そのようケースが今後も増加する可能性がある。
	課題に対する令和5年度以降の取組	必要以上の小規模公園の整備を抑制するとともに、市民ニーズに沿った大規模公園の整備・維持に充てる財源としての金銭納付を誘導する。